東村山ものしりシート　9

令和6年6月発行

下宅部遺跡-1　どんな遺跡？

下宅部遺跡は、縄文時代を中心とした古墳・古代・中世にわたる遺跡です。川が流れる湿気の多い低い土地にありました。このような遺跡を低湿地遺跡といいます。当時の人々は、豊かな川の水を利用し、河原は作業場としての役割を果たしていました。

河原で行われていた作業

- トチの実・クルミの実を加工して下ごしらえする
- 狩りで獲った動物を解体する
- 丸木舟の製作などの木材加工をする
- 自然の恵みに感謝する儀礼を行う（狩猟儀礼）
- うるし（漆）を使った作業を行う

出土している遺物

- 土器・土製品（土偶など）
- 石器・石製品（石棒など）
- 木器・木製品（弓など）
- 編みかご類
- 植物や動物の骨
- うるし（漆）製品

東村山市公式キャラクターひがっしー

さんこうにしたもの
・東村山市ホームページ　・下宅部遺跡　縄文の漆　リーフレット　ほか
【東村山ふるさと歴史館　監修】

©東村山市立図書館　無断転載加工禁止